【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成21年5月7日(2009.5.7)

【公表番号】特表2009-512918(P2009-512918A)
【公表日】平成21年3月26日(2009.3.26)
【年通号数】公開・登録公報2009-012
【出願番号】特願2008-533978(P2008-533978)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｆ　21/20　　(2006.01)
Ｇ０６Ｑ　10/00　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ　15/00　　３３０Ａ
Ｇ０６Ｆ　17/60　　１７０Ａ
Ｇ０６Ｆ　17/60　　５０４

【手続補正書】
【提出日】平成21年2月17日(2009.2.17)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ホスト・サイトおよびマーケティングされるサイトに結合するように構成されたペイ・パー・クリック・エンジンと、
前記ペイ・パー・クリック・エンジンに結合されたリンク・ランダム化ロジックであって、前記ホスト・サイト内に配置され、前記マーケティングされるサイトを参照する、リンクに関するリンク・アドレスを修正することを可能ならしめるプログラム・コードを含む、リンク・ランダム化ロジックとを含み、
前記ペイ・パー・クリック・エンジンが、前記修正リンク・アドレスを参照しない前記リンクに対するクリック・スルーを拒絶することを可能ならしめるプログラム・コードを含む、
ペイ・パー・クリック・データ処理システム。
【請求項２】
前記ホスト・サイトおよびマーケティングされるサイトが、ホスト・ウェブ・サイトおよびマーケティングされるウェブ・サイトを含む、請求項１に記載のシステム。
【請求項３】
前記リンク・アドレスがユニフォーム・リソース・ロケータ（ＵＲＬ）である、請求項１または２に記載のシステム。
【請求項４】
前記リンク・ランダム化ロジックに結合されたクロックをさらに備え、前記リンク・ランダム化ロジックの前記プログラム・コードがさらに、前記クロックで示される時間に応答して前記リンク・アドレスを修正することを可能ならしめる、請求項１、２、または３に記載のシステム。
【請求項５】
前記リンク・ランダム化ロジックに結合されたクロックをさらに備え、前記リンク・ランダム化ロジックの前記プログラム・コードがさらに、前記クロックで示される時間に応答してランダム値を含むように前記リンク・アドレスを修正することを可能ならしめる、

請求項１、２、または３に記載のシステム。
【請求項６】
前記リンク・ランダム化ロジックに結合されたクロックをさらに備え、前記リンク・ランダム化ロジックの前記プログラム・コードがさらに、前記クロックで示される時間に応答して、前記マーケティングされるサイトによって与えられるランダム値、乱数シード、および乱数アルゴリズムのうちの１つによって、前記リンク・アドレスを修正することを可能ならしめる、請求項１、２、または３に記載のシステム。
【請求項７】
単一ソースからの前記リンクの各クリック・スルーをカウントすることが可能なカウンタをさらに備え、
前記ペイ・パー・クリック・エンジンが、前記カウンタがしきい値を超えることに応答して、人間の存在を確立するために前記クリック・スルーの前記単一ソースを精査することを可能ならしめるプログラム・コードをさらに含む
請求項１ないし６のいずれかに記載のシステム。
【請求項８】
前記ペイ・パー・クリック・エンジンが、
マーケティングされるサイトを参照するホスト・サイト内のリンクに対するクリック・スルーを受け取る手段と、
前記クリック・スルーでの前記リンクに関するリンク・アドレスを識別する手段と、
前記識別したリンク・アドレスを、前記マーケティングされるサイトに関する実際のリンク・アドレスに対して記録された修正リンク・アドレスと比較する手段と、
前記識別したリンク・アドレスが前記修正リンク・アドレスではない場合に前記クリック・スルーを無効にする手段と
を備える請求項１ないし７のいずれかに記載のシステム。
【請求項９】
ホスト・サイト内に配置され、マーケティングされるサイトを参照するリンクに関するリンク・アドレスを修正するステップと、
前記修正されたリンク・アドレスを参照しない前記リンクに対するクリック・スルーを拒絶するステップと
を含むペイ・パー・クリック方法。
【請求項１０】
ペイ・パー・クリック・データ処理システムで動作可能な詐欺防止方法であって、
マーケティングされるサイトを参照するホスト・サイト内のリンクに対するクリック・スルーを受け取るステップと、
前記クリック・スルーでの前記リンクに関するリンク・アドレスを識別するステップと、
前記識別されたリンク・アドレスを、前記マーケティングされるサイトに関する実際のリンク・アドレスに対して記録された修正リンク・アドレスと比較するステップと、
前記識別されたリンク・アドレスが前記修正リンク・アドレスではない場合に前記クリック・スルーを無効にするステップと
を含む方法。
【請求項１１】
前記識別したリンク・アドレスが前記修正リンク・アドレスである場合に、前記マーケティングされるサイトに前記クリック・スルーをリダイレクトするステップ
をさらに含む、請求項１０に記載の方法。
【請求項１２】
ペイ・パー・クリック・エンジンに前記クリック・スルーを記録するステップ
をさらに含む、請求項１１に記載の方法。
【請求項１３】
前記実際のリンク・アドレスに対して記録される前記修正リンク・アドレスを反復的に

修正するステップを
さらに含む請求項１０、１１、または１２に記載の方法。
【請求項１４】
前記実際のリンク・アドレスに対して記録される前記修正リンク・アドレスを反復的に修正する前記ステップが、クロックに従って前記修正リンク・アドレスの各修正をトリガするステップを含む、
請求項１３に記載の方法。
【請求項１５】
前記実際のリンク・アドレスに対して記録される前記修正リンク・アドレスを反復的に修正する前記ステップが、前記修正リンク・アドレスの一部として少なくとも１つのランダム文字を含むようにそれぞれの前記修正リンク・アドレスを修正するステップを含む、
請求項１３に記載の方法。
【請求項１６】
前記実際のリンク・アドレスに対して記録される前記修正リンク・アドレスを反復的に修正する前記ステップが、前記マーケティングされるサイトによって与えられるランダム要素、前記マーケティングされるサイトによって与えられる乱数シード、および前記マーケティングされるサイトによって与えられる乱数アルゴリズムのうちの１つを使用して、前記修正リンク・アドレスの一部として少なくとも１つのランダム要素を含むようにそれぞれの前記修正リンク・アドレスを修正するステップを含む、
請求項１３に記載の方法。
【請求項１７】
単一ソースから前記修正後リンクの各クリック・スルーをカウントするステップと、
前記カウントがしきい値を超えたことに応答して、人間の存在を確立するために、前記クリック・スルーの前記単一ソースを精査するステップと、
をさらに含む、請求項１０ないし１６のいずれかに記載の方法。
【請求項１８】
ペイ・パー・クリック詐欺を防止するための、コンピュータ使用可能媒体に含まれる、コンピュータで使用可能なコンピュータ・プログラムであって、当該コンピュータに、
マーケティングされるサイトを参照するホスト・サイト内のリンクに対するクリック・スルーを受け取るステップと、
前記クリック・スルーでの前記リンクに関するリンク・アドレスを識別するステップと、
前記識別されたリンク・アドレスを、前記マーケティングされるサイトに関する実際のリンク・アドレスに対して記録された修正リンク・アドレスと比較するステップと、
前記識別されたリンク・アドレスが前記修正リンク・アドレスではない場合に前記クリック・スルーを無効にするステップと
を実行させるための、コンピュータ・プログラム。
【請求項１９】
ペイ・パー・クリック・データ処理環境で動作可能な詐欺防止システムであって、
マーケティングされるサイトを参照するホスト・サイト内のリンクに対するクリック・スルーを受け取る手段と、
前記クリック・スルーでの前記リンクに対するリンク・アドレスを識別する手段と、
前記識別されたリンク・アドレスを、前記マーケティングされるサイトに関する実際のリンク・アドレスに対して記録される修正リンク・アドレスと比較する手段と、
前記識別されたリンク・アドレスが前記修正リンク・アドレスではない場合に前記クリック・スルーを無効にする手段と
を備えるシステム。